

# 広報 市民後見ぎふ

発行 NPO法人  
市民後見センターぎふ

<市民後見相談所>

岐阜市司町40番地5  
(ぎふけん 伊豆川内)

Tel 090-4407-8376

E-mail g-koken@hotmail.co.jp

URL <http://shiminkouken-gifu.jimdo.com/>

## ボランティアイベントに参加！

NPO法人市民後見センターぎふ（市民後見ぎふ）は、「ハートフルフェスタ2016」と「子ども・三世代交流フェスティバル」に参加（ブース出展）しました。

「ハートフルフェスタ2016」は、平成28年1月16日（土）JR岐阜駅東ハートフルスクエアGで開催され、前年度に引き続いて参加しました。

市民後見ぎふのブースでは、活動内容のパネル展示・無料相談を行い、紙皿を使ったおひな様飾りを親子連れなどの多くの方に楽しんでいただきました。

また、「子ども・三世代交流フェスティバル」は、平成28年3月5日（土）ふれあい福寿会館（岐阜市藪田）で開催され、初めて参加しました。「ハートフルフェスタ2016」と同様、無料相談を行い、アイデアいっぱいの折り紙の鯉のぼりを作り楽しんでいただきました。

このようなイベントの参加により、市民後見及び市民後見ぎふの活動を多くの市民に知っていただきましたので、今後における参加も計画します。



## 市民後見センターぎふの市民後見活動とは

市民後見ぎふにおける「市民後見活動」は、成年後見制度による支援（認知症等で判断能力の低下した高齢者等の支援）ではありません。

判断能力が低下していない高齢者等を対象にして、日常生活の困りごと・終活の支援・死後事務の対応なども支援しています。特に、身寄りのない高齢者等には、入院等における身元保証の支援も行っています。

市民後見ぎふの市民活動は、ご希望によって高齢者などの「日常生活から人生最期まで」ワンストップ（1か所で用事が対応できること）で支援します。

市民後見  
豆ちしき



## 市民後見 Q&A

### 一人暮らしの母が心配だ。どうしよう？

Q 母親(85歳)は、10年以上一人暮らしです。これまで大病を患ったことは無いが、高齢になったので一人暮らしを続けることが心配です。特に急病のときが不安です。

また、同居を勧めても現在の家で住みたいと言います。私は、仕事の関係で実家に戻れないので、よい方法はありますか？

＜東京居住の長男＞

A 市民後見ぎふには、地域の高齢者の方などが、日常生活で困っていること(買物や病院の同行等)やこれからの生き方(終活)等を対象にした「安心安全生活サポート事業」があります。

お母様には、現在のところ特に身体・生活面での支障が無いと思われますので、急病等で困ったときの対応も支援対象となる「安心安全生活サポート事業」の「見守り支援」のご利用を検討されると良いと思います。この「見守り支援」では、毎月、サポーターが定期的にお母様と面談して、身体の変化、生活面での困りごと等を確認して必要な対応(支援)をします。急病等の時でも、直ちに訪問して入院手続き等必要な対応(支援)をします。

また、親族(長男)には、訪問した都度、その状況等をご報告しますのでご安心できます。

## 市民後見トピックス

### ～新たな「成年後見関係法」が制定されます～

本年3月開会中の国会で「成年後見制度利用促進法」の成立が見込まれています。この法律では、研修を受けた市民後見人の育成と活用を図り、「人材を十分に確保すること」などが明記されています。

また、政府に必要な法整備や財政上の手当てを速やかに講じるように義務付けし、自体には地域の特性に応じた施策づくりと実施を求めています。

この法律により、今後、市民後見人の確保、活用等が推進されることを期待します。

## お知らせ

## 市民後見講座の開催

市民後見活動の基礎を学ぶ「市民後見講座」を開催します。

参加を希望される方は、「市民後見ぎふ」までお問合せください。

- 1 対象者 市民後見活動(社会貢献活動)に関心のある方  
親族の後見人など成年後見制度の利用を検討されている方
- 2 開催時期 平成28年7月～11月 毎月第3木曜日(5回受講が必要)
- 3 講座内容 市民後見(成年後見制度等)及び手続き等の基礎
- 4 開催場所 JR岐阜駅東 ハートフルスクエアG 研究室30

ご相談・お問合せは市民後見相談所まで **Tel 090-4407-8376**

### \*\* 編集後記 \*\*

最近の気候は、例年より寒暖の差が著しく、団塊世代の身体には体調維持も難しく感じるようになりました。幸い風邪を引くこともなく桜花の季節を迎えましたが、皆様はいかがでしたか？トピックス記事の「新たな成年後見関係法制定の動き」は、市民後見活動に関わる者として歓迎し、かつ、市民後見活動の普及、利用等に大きく期待します。(寿)